

# 創業約3000年!! 母から娘に伝えたい 婦人薬

キタニ

うめナヒ

vol.8-5

喜谷實母散本舗、キタニ(目黒区目黒本町、喜谷和夫社長、03・3716・2161)は、1713年(正徳3年)、徳川家7代将軍家継が征夷大將軍となった年に創業、約300年の歴史を誇る。實母散とは日本古来より伝わる婦人薬で、戦前は200種類以上存在していたが、現在は10種類程度、その中でも喜谷實母散は最も古い歴史を持つ薬である。

喜谷實母散は、トウキ・センキュウ・センコツ・モッコウ・ケイヒ・ビンロウジ・ビヤクジュツ・オウゴン・チョウジ・オウレン・カンゾウの11種類の生薬を配合、このうち、トウキ・センキュウは婦人病剤として、センコツ・モッコウ・ビンロウジ・ビヤクジュツ・チョウジ・オウレン・カンゾウは健康利尿剤として、ケイヒ・オウゴン

は鎮痛解熱剤として知られている。こうした婦人病剤を中心に、11種類の生薬によって相乗効果を上げています。その効能・効果は、更年

期障害・血の道症・月経不順・冷え症とこれらに付随して起こる頭痛・のぼせ・肩こり・めまい・動悸・息切れ・手足のしびれ・こしけ・血色不良・便秘・むくみ等である。喜谷實母散は婦人用薬だが、男性が飲んでも差し支えなく、血行を良くするので、男性の「更年期障害」ともいわれる40代・50代のストレス病・肩こり・腰痛等の症状を軽減・解消する効果が期待できる。また、風邪のひき始めには、寝る前に温かい「振出し液」を飲むと体が温まるので、風邪の症状を追い出しやすくなる。

喜谷實母散は、生薬が渾然一体となり、思わぬ薬効を示すことがあり、それが伝承薬の面白味であり、伝統の重みである。同社では、「喜谷實母散」と携帯用の「ジツボンS」を製造しており、大手ドラッグストアにて販売している。

詳しくはホームページにて

(<http://www.kkitani.co.jp/>)



歴史の重みを感じられる喜谷實母散の看板



「喜谷實母散」と「ジツボンS」